

平成30年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立世田谷総合高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
教諭1名、事務1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭4名、主任教諭1名 計8名
- (4) 協議委員の構成
世田谷区立二子玉川小学校 校長、世田谷区立砧南中学校 校長、
社会福祉法人世田谷おとぎの森保育園 園長、二子玉川商店街振興組合理事、
成城警察署生活安全課少年係 係長、世田谷区鎌田児童館 館長、
成城消防署警防課地域防災担当係長、保護者と生徒と教職員の会（PTA） 会長
計8名

2 平成30年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 平成30年6月29日（金）内部委員7名、協議委員5名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営報告、学校経営計画説明、学校概要説明、意見交換
 - 第2回 平成30年11月30日（金）内部委員8名、協議委員5名
学校評価目的の確認、学校評価の内容検討、教育活動状況報告、意見交換
 - 第3回 平成31年2月8日（金）内部委員7名、協議委員4名
学校評価の報告及び学校運営に関する提言・協議、学校関係者評価の実施、
次年度へ向けた方向性の確認、意見交換
- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 平成30年11月30日（金）内部委員8名、評価委員5名
今年度の学校評価の観点・項目、アンケート内容・実施時期の検討、
 - 第2回 平成31年2月8日（金）内部委員7名、評価委員4名
学校評価アンケートの結果・分析、学校関係者評価表の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の教育・指導」「学校の目標・特色」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 685人
 - ・12月 保護者全員 685人
 - ・12月 教員 53人
- (3) 主な評価項目
 - ・学校運営、学習指導、生活指導、いじめ・体罰防止、進路指導、特別活動、施設、接遇、
ライフワーク・バランス
- (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）
 - ・「入学してよかった」の項目について、保護者はここ数年肯定的回答が90%台と高い。
 - ・保護者・教員の肯定的回答は80%台、生徒は75%台と、本校の学校生活が充実していると感じている生徒は比較的多く、生徒・保護者の期待に応え、総合学科高校として機能している。
- (5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）
 - ・昨年度、学力向上への取組を評価する回答が全ての対象で前年比平均9ポイント上昇したが、今年度は、横ばいとなった。土曜授業の実施や講習・学習合宿・土曜寺子屋への強制参加など、現在の取組をさらに推し進めて欲しいとする意見の表れであろう。

- ・「家庭との連携」の項目では、肯定的回答が教員 96%に対して保護者が 60%台であった。教員は家庭との連携を大切にしている。保護者は学校に対し安心感を求めており、小・中学校に比べて高校との距離感を感じているようにも捉えられる。そのため、保護者の思いやニーズを的確に把握し、保護者会や個人面談への参加を促していく。
- ・「学校行事の充実」の項目では、保護者・教職員は 90%台で非常に高い満足度を示している。これは、本校の行事のスタイルが定着されつつあること、生徒主体の行事ができるようになり、生徒の成長や達成感が目に見えることが考えられる。
- ・前年比で肯定的意見の増加した評価が、生徒で 3項目から 17項目へ、保護者で 4項目から 8項目へと大幅に増えた。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・保護者や地域の方々から、本校の教育活動や行事、部活動等は一定の評価を得られており、地域に根付いた学校として機能してきたことが意見の中で確認できた。その一方で、保護者や地域の方の学校への高い期待や要望等を把握できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・小中高の横の連携が機能する工夫が必要だと感じた。また、ホームページ等で学校の情報を積極的に発信することは保護者や地域の方から一定の評価を受けているが、さらに内容等、様々な工夫をし、必要な情報が充実するように検討することが必要である。
- ・より適正な評価を行うため、協議委員に対する継続的な情報提供が必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動改善事項（学校経営計画反映）

(1) 学校運営

- ・近隣保育園・幼稚園、小中学校、介護施設などとの連携・交流をさらに進めてほしい。
- ・授業公開等、積極的に学校の様子が見える取組を行い募集活動に繋げてほしい。

(2) 学習指導

- ・基礎学力の定着と、自学自習の習慣の確立に向けた工夫をさらに望みたい。

(3) 特別活動

- ・生徒の自己有用感を促す学校行事、部活動を継続して推進してほしい。

(4) 生活指導

- ・あいさつの励行、身だしなみ指導等の指導を継続して実施してほしい。

(5) 進路指導

- ・総合学科の特色を生かした進路実現に向け、体制を構築、維持してほしい。

(6) 健康・安全

- ・大規模災害対策及び防災教育の充実をお願いしたい。

6 授業見学への協議委員の参加実績及び成果

【実績】第 2 回学校運営連絡協議会にて授業見学を実施し、協議委員 4 名が見学を行った。

【成果】参加された評議委員 4 名全員から、授業内容や生徒の態度などについて、高評価な回答をいただいた。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】なし

【その他】報告及び研修により、協議会での意見等を周知している。

8 その他

- ・保護者アンケートの回収率向上を次年度の一つの目標とする。